

太宰府中学校2学年だより

No.17

R3.11.08

文責:2年部 主任

素敵な自分に出会ってね

外部講師の講演会が行われました。



先日、外部講師の講演会が行われました。題名は「思春期を生きる素敵な君たちへ」。

思春期まった中の皆さん達に「順調よ」「大丈夫だよ」という温かいメッセージをたくさん送って下さいました。時にはユーモアあり、時には真剣にといろいろな形でお話しをして下さったので、60分という時間があっという間に過ぎたのではないのでしょうか。

ここで、先生が皆さんに伝えたことを、いくつかまとめてみたいと思います。

- あなたは望まれて生まれてきたこと。あなたが生まれる前にはすてきなドラマがあって、あなたは約3億分の1の確率で奇跡的にこの世にいること。
- 中学校で勉強するのは、大人になって、必要な知識を身につけるため。素敵な大人なるために、今しっかり勉強して欲しい。
- 異性に興味をもつのは当たり前。いろいろな情報を見たり聞いたりしてもいいが、それが本当のことだと思っはいけない。欲望を押さえる理性をもってほしい。
- 中学生の時は体が大きく変化する。変化には一人一人違うので、みんな違って当たり前。大きいのがいいとか強いのがいいとかは間違った考え。決して人と比べない。比べるのは1年前の自分自身でいい。そして、体のことをからかうのは人として最低のこと。絶対してはいけない。
- お酒やたばこに興味があるだろうが、中学生の飲酒・喫煙は体をぼろぼろにする。また、若いうちからお化粧をすると肌を傷める。若い時期は素肌を楽しんで欲しい。
- 「いじめ」に原因はない。いじめそのものが絶対あってはならないこと。奇跡的に生まれたのは自分もまわりの人も皆同じ。「いじめられない」ことを身につけるよりも「人をいじめない」優しい心を持って欲しい。
- 毎日、鏡に向かって「ありがとう」「ごめんなさい」と唱えて、素敵な人になろう。そして、3つのことをいつも心に留めておこう。
【困ったときは必ず誰かに相談する。・自分を大切にする。・自分で命を絶ってはいけない。】



皆さんの感想文には、「とてもいい話を聞いた」「心がスッキリした」「どうして子どもや親の気持ちかわかるのだろう」といった感想がたくさん書かれていました。

今回の講演会で「自分のこと好き?嫌い?」といわれて一番手が上がったのが「自分が嫌い」という答えでした。思春期まった中の皆さんは、つい自分と他人を比べてしまい「どうして自分ってダメなんだろう・・・」と落ち込んで、自分が嫌いになったからでしょう。そのとき熊丸先生がおっしゃった一言、覚えていますか?

「みんな、とっても素敵よ」

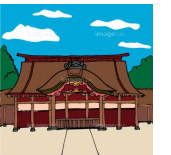
自分のことを気にするのは、思春期なら当たり前のことです。そうやって悩みながら自分自身のありのままを見つめて、受け入れていくことが、自分の良さを持ち味を伸ばすきっかけにつながっていくのです。それが、熊丸先生のおっしゃる「順調に育っている」ということです。

みんなひとりひとり素敵な良さを持ち味を持っています。それをどのように磨くのかは自分次第。中学校生活の中で「磨くもと」はたくさんあります。部活動の中で・授業の中で・行事の中・掃除の中で・・・。思春期まった中の今だからこそ、今が最も磨くチャンスです。

先生の言葉と笑顔を宝にして、将来、素敵な自分に出会ってほしいと思います。

太宰府の権禰宜(ごんねぎ)さま、ありがとうございました。

太宰府学でお世話になった太宰府天満宮の神職の権禰宜のMさまから、皆さんの質問に対してお返事を頂きました。天満宮のお仕事をご多忙な中にもかかわらず、ひとつひとつの質問にわかりやすく丁寧に答えて下さいました。本当にありがとうございました。



権禰宜さまからの回答は、各教室に掲示しております。皆さんも読んでみて、天満宮の新たな発見やトリビアの数々に「なるほど」と感心したことでしょう。ほんの一部ですが、ご紹介させていただきます。

- ・天満宮の広さ ☞ 境内10万坪、東京ドーム10個あまりあるそうです。
- ・天満宮の赤い色の意味 ☞ 朱色の起源は、古代の塗料の原料となる「舟(に)」と呼ばれる貴重品です。古代の日本人は、太陽や炎のイメージをもつ朱色に生命の躍動を願うとともに、朱色に「魔除け」の意味も込めていたそうです。
- ・太鼓橋のまつわり ☞ 「心」の字を模した心字池にかかる太鼓橋には、参道から御本殿に向かって「過去・現在・未来」が示されています。参拝客はこの橋を渡ることにより、身や心を清め、清らかな気持ちで神前に向かうそうです。
- ・おみくじの色 ☞ おみくじは季節毎に色があり、それぞれ素敵な意味があります。ピンクは梅、紫は花菖蒲、青は登竜門、三色は紅葉などです。

太宰府天満宮について、このような丁寧なお話をいただけるのは、日本中どこを探しても「皆さんだけ」だと思います。皆さんの学びに、多くの人々が関わってくださる・・・とても幸せですね。